

緑の風 FAX版



NO. 73 2021年11月29日 JR東労組

JR 東労組ホームページ

JR 西日本は番線間違えで賃金カット！ 経営陣は福知山脱線事故をお忘れか!?

■ ミスで賃金カット？

2020年6月、岡山駅から車庫まで入換を行う際、番線を間違えて違うホームに出場し列車を待っていました。入換作業予定の2分後に間違えたことに気がつき入換を開始しましたが、入換完了予定時刻から1分遅れてしまいました。

JR西日本は作業開始までの2分間は働いていなかったとして、「85円の賃金カット」を行いました。



■ 賃金カット撤回を求め訴える！

労働基準監督署に確認したところ「賃金カットするべきではない」と是正勧告を行いました。JR西日本は応じずに最終的に56円の1分間の賃金カットをしました。

運転士は「乗り場を間違えて遅れたことについてはミスであり誤魔化す気はありません。反省もしています。しかし仕事をしていて賃金が支払われないのは納得できない」と述べ、1分間の賃金56円と精神的苦痛への損害賠償220万円を求め、訴えを起こしました。

■ 会社は正当性を主張!?

JR西日本はミスをした社員に「日勤教育」と呼ばれる懲罰的な社員教育を課し、責任追及の風土が福知山線脱線事故につながりました。5年前から運行上のミスは「事故を防ぐ材料」として報告しやすいように懲罰の対象にしない制度となっています。

しかしJR西日本は「この事象に限らず同様のカットをしている。制裁ということではない。労働時間の考え方に意見の相違がある」と争う姿勢です。

遅れたのは故意ではなくミスによるものです。一般的な業務でのミスを「契約不履行」とするのは妥当ではないと原告は批判しています。



ヒューマンエラーに責任追及では安全は守れない！